

北海道幌加内高等学校の行動計画(グローバル・アグリハイスクール宣言)

全国の農業高校の行動計画		学校において令和元年度に重点化した取組の実現状況・課題			
「5つの基本方針」	「10の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	実現状況	課題	評価
I グローバル教育 で人材を育てる 学校	①「生徒一人一人を一層成長させる」教育を行います。	(1)農業の六次産業教育を推進します。 (2)農業学習で得た知識・技能・成果を外部実践します。	・学校設定科目「六次産業産業化概論」「六次産業化実践」の実施と幌高商店会の開催(3回)。 ・幌加内町新そば祭りへの協賛参加(全校生)。	・計画通り実施できており、さらなる充実を図っていく。 ・生徒数の減少による実施方法の改善が必要である。	5
	②「世界と日本をつなぐグローバル」教育を行います。	(1)G-GAPの取り組みに準拠した農場の生産体制を見直します。	・G-GAPに準拠した栽培管理。	・収穫や出荷調整(保存や保管含む)について取り組む必要がある。	4
II 地域社会・産業に寄与する学校	③「地域農業の生産を支える」教育を行います。	(1)農業体験実習を継続実施します。	・町内農家ならびに関連機関で3日間の実習を実施(学校設定科目「農業体験実習」)。	・計画通り実施できており、さらなる充実を図っていく。	5
	④「地域の農業関連産業に寄与する」教育を行います。	(1)地域農家や関連企業が抱える問題をプロジェクトのテーマとして活動します。	・そばを活用したプロジェクト活動の実施(そば殻の活用、そば粉を活用した新商品の開発)。	・取り組みや活動は十分に評価できる。 今後の活動の成果を継続させる。	4
III 地球環境を守り創造する学校	⑤「地球環境を守り創造する」教育を行います。	(1)校内および町内の環境美化に取り組み、エコロジーを意識した町づくりに取り組みます。	・町内清掃活動ならびに町内花いっぱい運動への参加(全校生徒)。	・町内関係機関との綿密な連携が必要である。	5
	⑥「食農」教育を推進します。	(1)生産者ならびに消費者、両者の視点に立った食料生産(農産物や加工品)に取り組みます。	・各科目内でHACCPやGAPの学習を実践。	・各科目間とのさらなる連携や情報交換が必要。 ・外部との連携を図っていく。	4
IV 地域交流の拠点となる学校	⑦「地域資源を活用する」教育を行います。	(1)そば栽培や加工の学習をとおしてそば打ち技術を継承し、次世代を担う人材育成を目指します。 (2)地域特産品を活用した加工品の開発を目指します。	・本校独自で作成した「そばテキスト」の活用 ・関連機関との連携(そば商品の研究と開発)。 ・手打ち生そばの販売。	・本校のそば学習は成熟していることから、画一的な内容に陥らない工夫と改善をする。 ・本校製品の計画生産とブランド化の推進をする。	4
	⑧「地域交流の拠点となる」教育を行います。	(1)幼、小、中、高等学校が連携し農業の大切さを伝え、学校の持っている教育力を地域に還元します。 (2)地域の教育力を活かした授業を行います。	・小中学生体験学習において生徒が主体的に「そば打ち」や「加工」を指導。 ・外部講師(そば打ち・大学等)による授業を実施。	・計画通り実施されており成果も認められるが、画一的な内容に陥らない工夫と改善をする。	5
V 地域防災を推進する学校	⑨機関・団体と連携した」教育を行います。	(1)地域の協力の下、そば打ち段位認定会を企画・運営します。	・素人そば打ち段位認定会の開催。	・ほぼ100%生徒が段位を取得しており、上級段位の取得率向上を図っていく。	5
	⑩「地域防災を推進する」教育を行います	(1)地域の教育力を活かした防災教育を行います。 (2)農場危機マニュアルの整備をし、常に安全教育の徹底・危機管理意識向上を図ります。	・地元消防署への防災訓練依頼 ・ヒヤリハットの共有 ・雪害対策と未然回避への取り組み。	・現段階では概ね実施できているが、想定外の自然災害対策について準備をしていく。	4